

平成19年11月20日

各位

会社名 株式会社 新生銀行
代表者名 代表執行役社長 ティエリー ポルテ
(コード番号 : 8303 東証第一部)

資本調達の実施および投資家との連携強化について

当行は、本日財務基盤の強化並びに当行と親密な関係を有する投資家、株主との連携を強化するための資本調達計画を発表いたしました。その主な内容は、ジェイ・シー・フラワーズ・アンド・カンパニー・エルエルシー(J.C. Flowers & Co. LLC) (以下「JCF&Co.」)の関係者を含む投資家(以下「本投資家」)による、当行株式に対する公開買付け(以下、「本公開買付け」)および本投資家に対する第三者割当増資です。当行経営陣及び本投資家のサポートの下、当行は、インスティテューショナルバンキング、コンシューマーアンドコマースシャルファイナンス及びリテールバンキングの各戦略業務分野に効果的な資本配分を行い、わが国における新たな銀行モデルを作り上げるという目標に向け業務を推進してまいります。

当行は本投資家による、1株当たり425円、当行発行済普通株式数の22.7%を上限とする、当行株式に対する公開買付けの申し入れを受けました。また、当行は、本公開買付けの成立と、当局の承認を条件として、さらに本投資家に対する総額500億円の普通株式の第三者割当増資を行います。第三者割当増資の1株当たりの払込金額は公開買付と同じ425円となります。結果として、本投資家及びその他のJCF&Co.の関係者は完全希薄化後の当行普通株式を最大32.6%保有することになる見込みです。なお、本公開買付けの公開買付価格が引き上げられた場合には、払込金額も同額に引き上げられることとなっております。

当行社長のポルテは以下のとおりコメントしています。「本件は、他とは異なる新しいタイプの銀行を目指すという当行の経営ビジョンならびに当行に対する本投資家による強い信任を示すものであり、当行にとって最適な選択であると考えます。さらに当行は経営陣と連携する本投資家からのサポートに加え、今後の各戦略業務分野の業容を拡充するための追加資本を得ることになります。」

本件を通じて調達された資本による資金力および自己資本の増強により、当行は今後のインスティテューショナルバンキング業務における投資・買収案件においても優位に立つことができるようになります。リテールバンキング業務においては、サービスの向上を通じて顧客満足度などにおいて高い評価を得ていますが、この時代の先を行くサービスネットワークを更に拡張していきたいと考えています。コンシューマーアンドコマースシャルファイナンス業務では新しいビジネスモデルを構築しつつありますが、この動きを更に推し進めてまいります。すなわち、長期的な成長や商品・サービスのクロスセルの機会を豊富に有する当該業務において、当行の持つ財務及びリスク管理のノウハウや最先端のITを有効に活用していくことです。当行のIT、財務基盤及びリスク管理のノウハウを各ビジネスに適用していくことにより、当行は新しい商品・サービスの提供とあわせ、スケールメリットを実現する機会を求めていくことが可能になると考えております。

当行は、一時国有化されていた旧日本長期信用銀行(1952年設立)を引き継ぎ新しい経営陣と株主の下再出発いたしました。JCF & Co.の創始者でCEOでもあるJ.クリストファー・フラワーズ氏は、新生銀行再発足後の初期段階から、投資家並びにアドバイザーとして指導的な役割を果たしてきました。当行の経営陣は、積極的な不良債権処理、リテールバンキングを含むより収益性の高い商品・サービスへ注力すると同時に、質の高いコーポレートガバナンスとリスク管理体制の確立、先進的なITプラットフォームの構築などの施策を実施いたしました。2004年2月、当行は、東京証券取引所市場第1部に普通株式を上場し、再公開を果たしました。

当行は、将来の成長に向け、以下に掲げるような強固な基盤を既に構築しているものと考えております。

- グローバル基準に基づくコーポレートガバナンス
- 革新的かつ顧客重視を基本とし、3つの戦略業務分野を柱とする独自のビジネスモデル
- 健全な資産内容と強固な資本基盤ならびに多様化する収益源
- 一般個人による高い認知度と、邦銀の中でも高いブランドイメージ

多くの金融機関が戦略、ビジネスモデル、業務プロセスの幅広い改革の必要性を唱えておりますが、当行は、戦略および、業務のイノベーションを通じ他社との差別化を行い、高い競争力を獲得しているものと考えております。当行は、お客さまの期待を上回ることを通じて、収益を伸ばし、他にはない卓越した金融サービスの提供により、長期的かつ安定的な収益成長を実現してまいります。

以 上